

9月7日朝の勉強会

テーマ「RRS rapid response system」

RRSの目的

予期せぬ院内心肺停止の前に
その徴候を発見し、早期に治療介入をし、
院内急変によるドクターハートコールを減らす。

本日の目標

- 1、初期ABCD評価をする。
- 2、緊急性の有無を評価し、重篤感があれば、酸素準備O2 ルート確保IV モニターMの指示を出す。
- 3、問診、身体診察をし、患者状態を評価する。
- 4、初期対応をする。
- 5、SBARを用いて、各科当番医に報告する。

夜 21時

6西病棟看護師から連絡が入りました。

「RRSの起動です。

腸閉塞で入院している80歳代女性の腹痛です。

主治医はS先生です。

入院14日目で、腹痛が新たに出現しました。

診察をお願いします。」

報告はどんな患者かを
サマライズして最初に
言うとうわかりやすい
と学んだ。

